

曳馬中学校 陸上競技部 へ行ってきました！

こんにちわあ～ こんにちはあ～ の声。

私(本間)に(だと思われる)あちこちから大きな声かけられました。

それぞれの部活動へ向かう多くの生徒たちとすれちがいな
がら運動場をみると陸上部では・・・

“今日の練習メニュー”について先生からの指示がされている
ところでした。



曳馬中学校の校章です



メニューが記されたプリントを
全員見ながら確認中です。



顧問の白鳥先生は、浜松市中学校体育連盟の理事長も務められ、市内中学の運動部全体の運営も指揮していらっしゃいます。

曳馬中には6年目だそうです。その間に異なる種目での2年連続全国大会出場という偉業を果たしたそうです。

それは前人未到のすごさだそうです。

陸上部に携わって18年、高校時代から陸上(幅跳び)を始められ、既に人生の半分以上を陸上と共に過ごされているそうです。

先生の練習のモットーは、“仲良くやれ。”ではなく、“締まってやれ。”

スパルタ的な練習の仕方ではなくコンディションにあわせたメリハリが肝心と考えているそうです。

試合当日は審判や、全体の事務局の仕事もあるため、始まる前しか生徒たちに声をかけることができないことが悩みだそうです。その為、大会当日、生徒達が自己管理できるよう毎日育てているつもりだと話してくださいました。

部長のお二人に練習中の様子を聞いてみると、みんな練習は手を抜かず黙々とこなしているということでした。

「練習中、先生は多くは語らないので、集中して取り組めるのはいい。けれど、どこか迫力があり、いい加減なことができない雰囲気醸し出している。」と(オフレコで)話してくれました。



左側が中西さん。右側が鈴木くん。

今シーズンの試合は駅伝を残すのみとなり、部長も2年生の代に変わったところだそうです。

部長選任当日、少し遅れてきたら既に自分に決められていたと照れて笑いながら話す(全体を統括する)鈴木君の笑顔はとても優しかったです。

(女子をまとめる)中西さんも沖縄の海のような澄んだ目がとてもきれいでした。

取材で写真を撮ったその後で、砲丸の自己ベストを出してしまうお茶目な部分もよかったです。(笑)

ひとり2種目ずつ練習するそうなのですが、この日は、

短距離走、



砲丸投げ、



駅伝、



ハードル、



カメラを向けると記録が出るという神話をつくりました(笑)

3年生で唯一大会が残っている種目。スゴイ気合でした!

これぞ美フォーム! 足の裏が正面を向きながらも上体が起きていない。間近で見ていると一瞬、まるで鹿か何かを通ったかのような錯覚を覚えました。

そして、筋力トレーニングに分かれていました。



思わず撮ってしまったこの筋肉は、馬淵君の腕です。無理な角度での撮影や、繰り返しの撮影要求にも笑顔で応じてくれました。中学2年生(13歳か14歳)でもこんなにスゴイ筋肉が付くのかと驚いてしまいました。

まぶちのまは「馬」という字です。ときっぱり答えてくれました。腕の筋肉はなかなかのものです。

走ることがあまり好きではない私(本間)にとって陸上をやるということは永遠の疑問であるので(笑)ある1年生に聞いてみました。

以下質問のやり取りです。

本間 「どうして陸上部に入ったの？」

1年生 「走るのが楽しいから」

本間 「でも、疲れるでしょう？」

1年生 「疲れるけど速くなりたいから」

本間 「練習してもタイムが上がらないときもあるでしょう？」

1年生 「でもやっていくとあがるから」

本間 「ひたすら走ったりすることって、単調でつまらない？」

1年生 「でも終わってから友達と話すのも楽しい」

本間 「続けてやりたい理由はほかにある？」

1年生 「あと、友達や先輩、世界陸上を見たりすると、とてもかっこよく感じる」

本間 「どういうところがカッコいいの？」

1年生 「速くなろうとする姿」

本間 「しつこいようだけど本当に“速くなりたい”ただそれだけ？」

1年生 「周りの人に頑張ったねといわれることも実はうれしい」

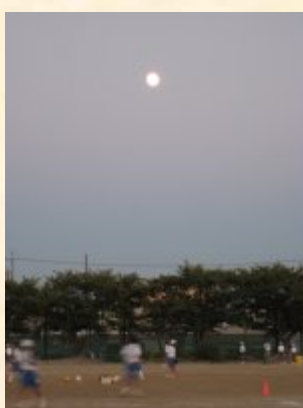
最後のフレーズは私(本間)がムリヤリ言わせている感がなくもないのですが、「よく考えればギリシャのオリンピック発祥の時代から人類は、“速く走ること”にあんなに憧れていたのではないか。」と、つい個人的な理由で大人気ない質問を浴びせてしまったことを反省するのでした。(笑)

そうこうしているうちに日は落ちていき、



夕焼けを背景に校舎を撮りました。
何を隠そう私(本間)は、曳馬中の卒業生です。
いまからもう20年も前のことかと思うと(汗)ですが、
校舎は20年前から変わらずそこに在りました。

月が出てくる時間になりました。



片付けは全員で行い、最後の挨拶。



こうして、1日の練習が終わってしまいました。

最後に恒例の先生から生徒のみなさんへのメッセージです。

「いつもつま先は前を向けて。そういう風に人生を歩いて行って欲しい」
さわやかなエールを送っていただきました。



(取材:本間)